① ハンデの設定

- ハンデは下の表のとおり、ハンデポイントで決めます。
- プロ棋士は12ポイント、アマチュア・タイトル大会で優勝したことがある人は9ポイント、アマチュア大会の都道府県代表になったことがある人と、関西棋院プロアマオープンで予選通過したことがある人は8ポイントになります。
- その他の人は、申し込み棋力からハンデポイントを決めます。

① まずそれぞれのポイント数を確認しましょう。ポイントは下記の表のように計算します。

段級位	五段	四段	三段	二段	初段	1級	2級	3級	4級	5級
ポイント	5	4	3	2	1	0	-1	-2	-3	-4

② 2人のポイントを足して2で割った点数を「ハンデポイント」といいます。

例えば

三段と1級のペアの場合

3段 = 3ポイント

1級 = 0ポイント

2人のポイントを足して

{ 3 + 0 }

半分に割ります

÷ 2 = ハンデポイント 1.5

② 手合割

- ペアのハンデポイントの差を計算し、下の表を見て置き石とコミを決めます。
※ 9路盤大会は互先(コミ6目半)となります。(状況によっては審判棋士の判断のもとハンデを設定する場合があります)
- ジゴは白の勝ちとなります。
- コミ6は黒から6目のコミ出し、コミ-6は白から6目のコミ出し(逆コミ)を意味します。
- コミは対局が終わった後に渡しましょう。

A～Eクラス手合割表

ポイント差	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0
置石	0	0	0	2	2	3	3	4	4	5	5
コミ	6	0	-6	0	-6	0	-6	0	-6	0	-6

例えば…

四段と1級のペア … { 4 + 0 } ÷ 2 = ハンデポイント 2

対 … { 2 - (-1) } = 3

二段と5級のペア … { 2 + (-4) } ÷ 2 = ハンデポイント -1

の場合

置石 3子 コミ -6 (白番から6目コミ出し)

手合割表から求めると

③ 対局時間

- A～Eクラスは一局60分。全クラス対局時計を使用し、時間切れは形勢に関わらず負けとなります。

- ※ 時計を押す際はなるべく石を打った手で押してください
- ※ 時計を置く場所は、白番のペアがお決めください